

安寧



兵庫縣姫路護國神社報
 「安寧」第九号
 発行所 兵庫縣姫路護國神社
 〒六七〇〇三 姫路市本町一八
 電話〇七九二三四一〇八九六
 安寧あんねい：世の中が穏やかで平和なとこ

ホームページアドレス <http://www.himeji-gokoku.jp/>

英霊の言乃葉

神風特別攻撃隊 第二護皇白鷺隊

海軍二等飛行兵曹 椎根 茂 命

昭和二十年四月十二日 沖繩周辺にて戦死

東京都荒川区出身 二十歳

気のせく儘に乱筆にて断片的に私の現在の心境を書き遺します。

私此の世に生を享け二十有一年御両親の一方ならぬ慈愛のもと私は今に至る迄日本一の幸福者と思つて居ります。翻つて戦局を見るに敵は有り余る兵力と物質に物を言わせ遂に沖繩に迄魔の手を延ばして来ました。三年の光輝ある歴史を有する大日本帝國未曾有の國難に私は特攻隊を志願致しました。一切の私心を捨て、悠久の大義に生きます。

私此の期に及び只一つの心残りは今迄私はお父さんお母さんに只一度も安心せしめた事なく親孝行の模倣だに出来ずに散るのが残念です。

しかし私は立派に手柄を樹て、死んで見せます。我々和氣隊白鷺隊の戦果が新聞に出た時は私が真先に突込んで行つたと思つて下さい。

私も最後の親孝行そして椎根家の名誉として驕敵米兵共数千と船一隻を太平洋の藻屑として見せます。(中略)

さやうなら 四月三日

私の突込む時は必ずお父さんお母さんとさけんで突込みます。

茂 より

御両親様



春季慰霊大祭



祭典前列立

五月二日春季慰霊大祭が、新緑のまぶしい中、盛大に厳粛に執り行われた。岩谷大祭委員長、三宅奉賛会会長、釜谷奉賛会副会長、兵庫県神社庁西井副庁長、天本駐屯地司令や自衛隊関係者、衆議院議員山口壮氏をはじめ多くの招待者が参列する中、国歌斉唱に始まりその後、御扉が開かれた。

続いて神饌が供され本庁幣が献ぜられた。次いで、裏千家淡交会西播磨青年部によりお抹茶

が献じられ泉宮司が祝詞を奏上した。

次いで、岩谷大祭委員長、三宅奉賛会会長が祭文を奏上、続いて姫路吟剣詩舞道連盟有志による扇舞「捧護國の英霊」を奉納、姫路市民合唱団により「慰霊の歌」「浜千鳥」が奉納された。その後遺族代表をはじめ来賓



扇舞奉納



献茶奉仕者

参列者が玉串を捧げて拝礼し、最後に大祭委員長並びに泉宮司が参列者に対し挨拶を申し述べ、春季慰霊大祭は終了した。

宮司挨拶

昭和二十七年四月二十八日サンフランシスコ講和条約が発効され、主権を回復して六十一年を迎えて今年その日は、新政権下で特に注目され、改めてこの日の意味を再認識された方も多いのではないだろうか。

しかし、いまだにそのわずか六年余りの占領下の後遺症、敗戦の呪縛から抜けきれず、日本の歴史を正しく伝えない社会、政治家、教育者が、数多くいることに怒りを感じる方々は、同時にこの豊かな自由と平和とそれを支える繁栄が、ただ自己中心的に快適な生活を送るために、あるいは保身のためだけに費やされているのではないかと、感じておいでの方もいらっしゃるでしょう。

先の大災害や、その後の出来事に、国家とは、国家と国民の

関係、公に奉仕する意味、ひいては殉じた命ということにあらためて、深い思いが到りました。靖國神社や、護國神社の祭祀の意義は、まさにここにあると考えています。

散華していかれた英霊が身を賭して護ろうとした日本の清らかさ、高さ、尊さ、美しさを再び輝かせなければなりません。自分の生きていく時代、それは取り戻せないかもしれませんが、家族を守る、地域を守る、国柄を守るという崇高な精神は、時代を超えて称えて行くべきだと思います。

公に生きた人たちをどのよう顕彰していくか、さまざま局面で殉じた先人達を常に忘れず生きていくことが、その国柄を守るすべであると考えます。ご戦死者の思いが、今ここに参列の方々、私たちの心の中にあるように、私たちの命が絶えてもその志や思いは残ります。神社という神域は、時間や場所を超え、人知では計り知れないご先祖の御稜威や自然の慈しみに近づき、つながりあえる場所でもあります。



また祖国を守るために尽くされましたご祭神は天上でも力強い私たちの守り神でもあります。今日このとき、そのお力を体いっぱいにお受けいただきたいと存じます。私たちにこの大きなご加護を下さる大事なお社を、お心深いご遺族の方々とともに、そして崇敬奉賛の目的に賛同される皆様方とともに御守りして参りたいと存じます。

祭典無事斎了にあたり、深く感謝申し上げ御挨拶と致します。大変ありがとうございました。

崇敬奉賛会総会



四月二十六日
姫路護國神社
崇敬奉賛会の役員
総会が開催され、理事以上の役員二十八名が出席。午前十時三十分より、本殿にて祭事が執り行われた後、参集殿へ移動し、十一時に総会が開会した。

三宅知行・崇敬奉賛会長から開会挨拶があり、昨年八月十五日に開催された英霊顕彰の集いでは、若い世代を含め二百名以上の参加があったことや、今年一月十四日の新年祈願祭では「お伊勢さん」をテーマに三木通嗣・廣畑天満宮宮司による講演を取り上げ、昨年度の事業内容がより充実したものであったことを話された。

続いて議事に入り、三木英一・運営委員長から、議案の提案と説明が行われた。提案されたのは、平成二十四年度の事業報告、決算報告、平成二十五年度事業計画案、予算案(↓下段参照)、

新たに一口一万円の「団体・法人賛助会員」を創設する会則の改正(↓7ページ参照)、新たな常任理事として隊友会姫路支部長の三枝副三氏を加えるなど役員変更の計7議案。

平成二十四年度の決算では、収入で当初見込んでいた会員数に届かず、会費収入の減となったが、新年祈願祭の参加者が増えたことによる雑収入の増につながった。一方、支出で三回の社報発行、しおりの増刷、英霊顕彰の集いなどの事業が行われ、平成二十五年度へ三百五十五万円の繰越となった。

また、本年度の予算では、会員の増強や社報の発行、今年八月十五日英霊顕彰の集いなどの事業を盛り込んだ総額六百三十六万円の予算が示された。全ての議案は役員の拍手をもって、それぞれ承認されている。

総会の中では、昨年の英霊顕彰の集いのダイジェストが会場中央のスクリンに映し出され、出席者全員でその様子をふりかえった。そして、今年の英霊感謝祭・英霊顕彰の集いでは、ニューギニア島の戦いを描いた映画「南の島に雪が降る」の上映、開設から今年七十年を迎える鷗野飛行場(姫路海軍航空隊基地)や神風特攻隊・白鷺隊についての講演・パネル展、行軍する兵士達の装備展示を行うことが発表された(↓7ページ参照)。なお、今年の

予告動画は、姫路護國神社ホームページからご覧になれる。

総会の閉会には、三枝・新常任理事が挨拶。国民と自衛隊の架け橋となる隊友会の立場から本会の活動に尽力していきたいとの決意を述べられ、天皇皇后両陛下より御言葉を賜った東日本大震災での自衛隊の活躍ぶり、自衛隊創隊後、殉職された兵庫県出身の自衛官六十八柱が姫路駐屯地にひっそり慰霊されていることを紹介された。

総会后、直会がおこなわれ、役員相互の親睦を深める機会となった。中締めでは、天田博子・常任理事が、本会に一人でも多くの会員を募り神社を守っていかねばならないこと、国を想う若者を育てていかねばならない、と今後の抱負を述べ、閉会した。

平成25年度 予算

(収入)	
繰越金	3,550,861
会費収入	2,500,000
雑収入	309,139
合計	6,360,000

(支出)

神社奉納金	1,000,000
事業費	1,500,000
事務費	100,000
会議費	550,000
雑費	50,000
予備費	150,000
次年度繰越金	3,010,000
会議費	6,360,000

平成24年度 決算報告

(収入)	
繰越金	4,150,665
会費収入	1,605,000
雑収入	314,953
合計	6,070,618

(支出)

神社奉納金	500,000
事業費	1,386,772
事務費	100,000
会議費	520,280
雑費	12,705
予備費	0
次年度繰越金	3,550,861
合計	6,070,618

※会費収入の内訳は、法人会員17口、個人会員148口、終身会員7口

硫黄島戦没者遺骨帰還事業に参加して

兵庫縣姫路護國神社崇敬奉賛会

運営委員 曾田孝一郎

平成二十五年二月五日(十三日)迄厚労省の特別派遣団(四十八名)の一員として参加した貴重な体験の一端を紹介します。硫黄島は「絶対国防圏の喪失により絶対死守」と「日本空爆の為に絶対奪取」しなければならぬ島、この三つの「絶対」から日米両軍が死闘を演じた島です。

因みに平成二十四年度の収集遺骨は二三七柱、総計一〇、三三五柱の英霊が帰還されました。然し、未帰還のご英霊は一万柱余り留まっておられ一日でも早い発見・帰還が望まれます。

搜索収集作業について

割り当てられた未搜索洞窟陣地(壕)前で英霊の方々に敬意の拝礼をして遺骨発見専門員の監視の下、スコップで積もった表土を取り除き、遺品や武器弾薬が逐次露出する辺りから慎重に小型スコップで壕底まで掘出した土は藁で壕外へ、全て篩で骨片が混じって居ないか点検、ご遺骨が発見されると竹ヘラや移植コテで更に慎重な掘削した。何分遺骨は可成り風化しており然も烈しい戦闘で散乱しているものもあり、一柱の回収に一時

間以上、壕の中は火山島の地質で蒸し風呂と埃が充満し作業は三〇分が限界、休止は必ず外に出て深呼吸した時の新鮮な空気の有難さが身に染みます。壕内で何日間も堪え忍んでいた旧軍兵士の精神力には頭が下がり涙が浮かんで来ました。



今回遺骨を収集した硫黄島北東部の大阪山付近の壕

洞窟陣地(壕)について

島の地形は大きな起伏は有りませんが、火山島らしく小さな谷や丘陵に地隙や崖が存在し、至る所で蒸気が湧き出しています。

す。亜熱帯らしい植生は樹丈の低い密林状態です。そのような状況下、人力でこんな多数の壕とその長さ・深さ・複雑さに加えて、地下深い所で前後左右から掘った通路と繋がっている緻密な工事も、地熱で五〇度近い環境であったことに驚かされます。この島を死守する気構えが肌で感じられ米軍に多大の損害を与えた原因が納得出来ます。

ご遺骨の発掘状態について

ご遺骨は大きく分けて二通り有ることが判りました。一つは戦闘姿勢のまま斃れた姿で、場所は壕の入口を守っていた兵士、以下推測ですが射撃姿勢(伏せ撃ち)のまま鉄帽と遺骨が現れると右肩辺りから錆び付いた小銃や実弾・手榴弾・銃剣が一緒に出土、又米軍の手榴弾で上半身吹き飛ばされた遺骨にも小銃等の武器が出土、又壕の入口を軽機関銃で守備していた兵士の遺骨は砲弾で吹き飛ばされたか、近くから不発弾も出土し自

衛官の慎重な処理の下で収集しました。もう一つは、野戦病院(軍医の物と思われる携帯手術セットが出土・この壕も米軍の砲爆撃跡有り)と思われる壕からは片腕や片足のない遺骨が数体と壕の奥で負傷又は衰弱で動けなくなつた将兵か、戦友に迷惑を掛けないよう孤独死(遺骨は纏まっている)又は自爆したのか散乱した状態でも発掘しました。

遺品の埋め戻しについて

遺骨と一緒に鉄帽・小銃・銃剣と共に必ず防毒マスク(米軍の毒ガス弾の他に地熱で発生する火山ガス対策)中でも小銃弾は二千発以上・手榴弾は二百箇以上も回収し「何故使用出来なかつたか?」の答えは、一発撃てば位置が暴露し大小砲弾や小銃弾が雨霰の如くお返しがあったことが壕の入口付近の沢山の弾痕が証明してくれます。その他、水筒・飯盒・医薬品・毛布・壕を掘ったスコップと鶴嘴の金属部等が沢山出土しましたが、遺

骨と弾薬以外は回収不要とのことで埋め戻される処置には違和感を覚えました。遺品にも魂が籠もっていると思いますが…。全国の資料館付設護國神社又は陸海空駐屯地・基地の資料館に「国を守る志」を引き継ぐ展示品として活用できないものか提案します。



御遺骨を収容し、敬礼する作業班

帰還にあたって

出発時も埼玉県入間基地は降雪中で出発が危ぶまれましたが、硫黄島は快晴の

中に着陸しました。帰還時も入間周辺は降雪中とのことで政府派遣の特別便(空自機)の到着が遅れました。然し硫黄島は二日前から曇天氣味であった空に英霊の帰還に相応しい青空が広がり、平成二十四年度に収集した未帰還の遺骨箱を参加者四十七名が捧持して特別便で帰還しました。

搭乗時は硫黄島勤務の礼装した海空自衛官による捧げ銃榮譽礼を受けると共に約三〇〇名の離陸するまで敬礼したままの見送りを受けました。又、入間基地到着時は儀仗隊による捧げ銃を受け、正門まで約二キロに礼装した空自隊員三〇〇名がと列して英霊の帰還に感謝の敬礼を捧げて頂いた。

バスにて都心の仮安置所へ移動中、夕陽に染まる富士山が遠望されたので、遺骨箱を数秒間富士山に向かつて捧げました。さて、帰還された英霊の目に現在の日本はどのように写っているのか、伺いたい気持ちになりました。

遺骨引渡式

千鳥ヶ淵戦没者墓苑に於いて、厚生労働大臣政務官他数名の国会議員や大勢の遺族関係者参列の下、空自音楽隊の「国の鎮め・慰霊の曲」バック演奏の中、捧持していたご遺骨を厚生労働省職員の方々に引き渡す時、受け取る職員の姿勢に「お帰りなさい」の気持ちが籠もっているように感じたと同時に、捧持していた遺骨箱から「ありがとう」の声が聞こえたような錯覚に、思わず目頭が潤んでしまい、緊張が全身を走りました。

後に事業に同行した若い女性が感涙を流される姿が見えられたと聞きました。ご遺骨はバックメロデー「ふるさと」の中、多くの戦没者が眠る安置所に移され、やっと永遠の眠りに就かれました。

一同は靖國神社に参拝し「ご遺骨の帰還」を報告し、「未帰還の多くの英霊が発見出来ませうよう」祈り、清々しい気持ちで帰路に就くことが出来ました。

(隊友会姫路支部事務局長)

日本の常識は世界の非常識

兵庫縣姫路護國神社崇敬奉賛会

常任理事 黒田直樹

日本人が成果を出すと、ルールが変わる。国際スポーツの世界では広く知られた常識である。グローバルスタンダード（世界標準）を支配する欧米の白人たちにとって、『極東の黄色い猿』が自分たちより秀でることが我慢ならぬのだろう。

ことはスポーツ界に限らない。とかく日本は国際政治力というか、国益のために主義主張を貫き、世界を納得させる力が弱いのだ。このたびの橋下大阪市長の発言で改めて注目された慰安婦問題しかり、領土問題しかり、教科書検定、靖國参拝など、枚挙にいとまがない。そもそも、慰安婦問題は決着済みというのが世界の認識である。根拠は河野談話。中国や韓国と仲良くなりたかった当時の宮澤内閣は、とりあえず謝ろうと考えた。「謝ったら水に流す」のは日本人

の美徳だが、この考えは、恐らく日本でしか通用しない。「謝罪とは、非を認めること」つまり『謝ったら負け』が、世界の常識である。

東日本大震災の時に、被災された東北の人々が秩序正しく列に並び、わずかな食料を分け合う姿が、世界中のメディアから絶賛された。しかし、その多くは驚きの声であつた。非常事態にあつては、暴動や略奪が起こつて当然（世界の常識）なのに、起こらなかつたから驚いたのだ。世界の見方に対し、日本人は逆に驚かされた。

このように世界と日本の常識がずれるのは、『狩猟民族』と『農耕民族』の違いが根底にあるからではないかと考える。獲物をしとめた者が、個人の裁量で成果（肉）を分配するのが狩猟民族である。いかに仲間を出し抜き、個人が成果を上げるか、が重要なのだ。そ

の結果、戦に勝利し、権力を手にした者が霸王となつて君臨する。

片や農耕民族の場合は、お互い協力し合つて作業を分担し、合議によつて成果（米）を配分する。

『和をもつて貴しとなす』のである。歴史を紐解くと、天下を統一した信長も秀吉も、家康すらも天皇にはなつていない。天皇になれるのは、父親が神武天皇の血を受け継ぐ者だけだ。日本には『尊王賤覇』の考え方があり、覇者といえども王にはなれなかつた。これが海外の王室と日本の皇室の大きな違いである。日本だけが特別なのだ。

日本はただ一度の敗戦によつて、精神文化の根幹ともいえる『修身』『国史』『地理』を奪われた。改めてGHQの戦略に脱帽させられる。先の慰安婦問題も、きつかけは日本人の左翼運動家であり、これにマスコミと左翼政党が迎合した。いまだに自国を陥れようとする日本人が大手を振つて歩いていることに、少なからず憤りを感じる。世の中は『正義が勝つ』訳ではない。『勝つた方が正義』なのだ。

優しくあるためには強くなければならぬ。大切な人や大切なものを守るには、強さが必要なのだ。

また『真実が認められる』訳でもない。『勝者が真実を作る』のである。国連や国際司法裁判所が公平公正な判断を下すとは、とても考えられない。誰もが自国の、ひいては自分の利益を中心に考えるのが、世界の常識である。嘘も数十年にわたつて語り継げば、それが真実と考える人数が大勢を占めるようになる。

日本人はもつと世界の常識を学び、個の力を磨くべきだ。そのためには、教育の見直しが必要の課題である。修身と教育勅語を復活させ、正しい日本地図を示し、神話から近代史にいたる正しい日本史を教えることで、子供たちに自信と誇りを取り戻してあげることが何より大切だと、私は考える。両親に感謝し、祖先を尊敬して初めて、次世代に健全な愛情を注げる人になるのではないだろうか。

三和電機株式会社 代表取締役社長

護國神社での祈りは靖國神社に繋がっていく

英霊感謝祭

平成二十五年 八月十五日

終戦六十八周年

我々の礎になつて下さった先人達に
感謝の気持ちを捧げましょう

※いつでも入場無料、入退場自由、
どなたでもご参加いただけます

英霊顕彰の集い

● 映画上映 十三時三十分〜

「南の島に雪が降る」



1995年(平成7年)
全国公開作品

英霊感謝祭 本殿 午前10時〜

日本のために戦ってくれたご英霊に感謝の気持ちを捧げましょう。

英霊顕彰の集い 参集殿二階

10時40分：英霊の言乃葉 朗読

11時40分：特別講演「郷土の特攻隊員に捧ぐ」
戦史研究家 上谷昭夫

正午：黙 禱

12時15分：関連アニメを上映

13時30分：映画「南の島に雪が降る」
水島総監督作品

16時00分：日本を唄う「蘇州夜曲」「海ゆかば」など
姫路護國神社音楽隊

開催場所：兵庫縣姫路護國神社

兵庫県姫路市本町118

主 催：兵庫縣姫路護國神社崇拝奉賛会

連絡先：079-224-0896

※映画「南の島に雪が降る」の予告編は
兵庫縣姫路護國神社のHPでご覧になれます

<http://www.himeji-gokoko.jp>

団体・法人

賛助会員 新設！

法人としてご協力頂き易い会員
種別が総会で承認されました。
従来の法人会員は年会費五万円
でしたが、今回新設されたのは
団体・法人賛助会員で
年会費が一万円です。
是非、この際で加入下さい。

奉賛会会員 募集中

- ① 団体・法人会員 年会費年額 一口(五千元) 何口でも可
- ② 個人会員 年会費年額 一口(三千元) 何口でも可
- ③ 特別会員 相当高額の金品を 一時に納入するもの
- ④ 終身会員 個人として一時に 会費五万円以上を納入するもの
- ⑤ 団体・法人賛助会員 年会費年額 一口(一万円) 何口でも可

日誌抄

二十五年四月、
二十五年七月

- 平成二十五年
四月 一日 三山大祭宮司参列(総社)
- 四月 四日 西宮神社総代会正式参拝
- 四月 九日 佐用郡幕山分会慰霊祭
- 四月十二日 姫路市遺族会総会出席
- 四月十五日 崇敬奉賛会運営委員会
- 四月十七日 姫路調停協会総会出席
- 四月十九日 兵庫県神社庁姫路支部総会
- 四月二十日 姫路隊友会総会出席
- 四月二十六日 崇敬奉賛会総会
- 五月 二日 春季大祭
- 五月 四日 賀堂流碑清掃奉仕・曾根天満宮国恩祭参列(曾根)
- 五月 六日 神戸護国神社春季大祭参列
- 五月十七日 青山繁晴講演会に出席(市民会館)
- 五月十八日 姫路郷友会総会出席
- 五月二十日 崇敬奉賛会運営委員会
- 五月二十二日 神社本庁評議員会(東京)
- 五月二十六日 姫路郷友会皇居奉仕祈願祭
- 五月二十九日 神河町慰霊祭
- 五月三十日 兵庫県神社庁役員会(兵庫県神社庁)
- 六月 二日 初任神職研修会講師出席(兵庫県神社庁)
- 六月 三日 兵庫県神社庁姫路支部総会
- 六月 七日 兵庫県防衛懇話会(湊川神社)
- 六月 八日 佐用郡三日月分会慰霊祭
- 六月 十日 姫路地区総代会総会三木英一・清水正光総代出席(出雲大社)
- 六月十四日 佐用郡石井分会慰霊祭
- 六月十五日 鴻池よしただ氏姫路事務所開き神事奉仕(姫路)
- 六月十七日 日本会議近畿ブロック前期理事会出席(西宮神社)
- 六月二十日 神道政治連盟代議員会出席(生田神社)
- 六月二十二日 日本会議第二回古事記講演会開催
- 六月二十三日 養心の会播磨正式参拝
- 六月三十日 清掃奉仕百名正式参拝・大祓式 鴻池よしただ氏激励会
- 七月十二日 兵庫県総代会合同総会出席(湊川神社)
- 七月十五日 日本会議兵庫県本部総会(生田神社)
- 七月二十二日 近畿護国神社会(和歌山)
- 七月二十六日 兵庫県神社庁協議員会(湊川神社)

崇敬奉賛会会員募集

日本のために戦ってくれた
英霊を大事にしたいと思う人
先祖を敬う心を持っている人
見えないものを受け継いで
いきたいと思う人
奉賛会に入会して神社を
支えて下さい
我々と共に英霊に感謝し
そして汗をかき、
涙を流しましょう

奉賛会事務局
〒670-0012
兵庫県姫路市本町118
電話 079-224-0896
<http://www.himeji-gokoku.jp/housankai/>



Shirasaginomiya 美しい白鷺宮の 結婚式

一日一組限定

「和」の邸宅ウェディング

奉賛会会員様限定特典

1. 衣裳2点目 **20%OFF**
たとえば10万円の衣裳が8万円! ワンランク上の衣裳に!!
2. モーニング、留袖レンタル **20%OFF**
3. ウェディング生ケーキプレゼント

婚禮受付相談室

TEL. 079-224-0559
受付時間 10:00 ~ 17:00 (火曜定休)
E-mail. info@shirasaginomiya.com

無料相談会開催中*予約制

※詳しくは婚禮専用HPにて
<http://www.shirasaginomiya.com/>